

平成26年度第1回鎌ヶ谷市史編さん審議会議事録

- ①開催日時 平成26年 6月26日（木） 13：30～15：30
- ②開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階 保育室
- ③出席者 委員 下津谷達男委員、横山謙次委員、小出達雄委員
（村田一二委員欠席）
職員 川西教育長、立野郷土資料館長（兼）学芸員、
手塚主事（兼）学芸員
- ④議題 以下の通り

委嘱状交付

開会に先だって川西教育長より各委員へ委嘱状が交付された。

1 開会(司会:立野郷土資料館長)

2 教育長あいさつ

川西教育長より、市史で集めた膨大な資料の保存・活用など事業終了後を見通した議論が必要であるという観点から、本年度より年度に2回審議会を開催予定であること、市史編さん事業の状況などについてあいさつがあった。

3 会長・副会長の選出

鎌ヶ谷市史編さん審議会設置条例第4条に基づき委員の互選によって、会長に下津谷達男委員、副会長に村田一二委員が選出された。

4 会長あいさつ

教育長あいさつを受けて下津谷会長から、市史編さん事業も大詰めとなっているが、刊行はもちろんのこと、集まった資料の取り扱いや活用といった課題も多々ある点についてあいさつがあった。

- ・あいさつののち教育長所用のため退席
- ・会議録署名人に小出達雄委員を選出

5 議事(司会:下津谷会長)

■ (1)平成 25 年度市史編さん事業報告について

手塚主事より資料1・2に基づき説明があった。

質疑

【横 山】 廃棄予定だった旧視聴覚センタービデオテープの移管を受けたとのことだが、テープはどのくらいの期間利用可能なものなのか。また、再生する機械はいっしょに移管されたのか。

【手 塚】 郷土資料館にはビデオデッキがあり再生ができる。また、ビデオから DVD に変換することも可能である。

→質疑の後、議事(1)は承認された。

■ (2)平成 26 年度市史編さん事業計画(案)及び予算(案)について

手塚主事より資料3・4に基づき説明があった。

→質疑はなく、議事(2)は承認された。

■ (3)市後期基本計画第 3 次実施計画における市史編さん事業について

手塚主事より資料5に基づき説明が、立野館長より補足説明があった。

質疑

【下津谷】 市史編さんが大詰めを迎えたということで、これは前々から会議の時に話が出ていることだが、集まった資料をそのまま死蔵するのはいかにももったいない。これをどういう風に市民に公開し、活用するかは前々から出ている。(第3次実施計画で要望している)鎌ヶ谷市史収集資料閲覧・公開環境整備事業について、具体的にはどのような事業を予定しているのか。

【手 塚】 (予算としては)整理作業に当たる臨時職員・非常勤職員の人件費、作業に必要な予算、ブックレット・市史研究の後継誌の印刷費が主である。事業としては、歴史的市公文書をはじめ目録が市史編さんのための仮目録にとどまっているものを整理したいということを掲げている。また文書に比べ市民が利用しやすい写真については先行して整理・公開を行うことで、市民が利用しやすいような形で事業を進めていきたい。

【下津谷】 (資料を公開する)空間そのものは現在の郷土資料館そのままか。

【手 塚】 当面は現在の郷土資料館で行うことが前提となる。

【立 野】 ご承知の通り、当館は狭く、歴史資料が散在している現状がある。私どもが所蔵している民具についても小学校の余裕教室やプレハブに保存しているなど恵まれた状況ではない。こうした事情は埋蔵文化財を管理する文化

・スポーツ課でも同様であるため、利活用機能を持った収蔵施設を作りたいという要求をしている。

- 【下津谷】 一般の人に見てもらうにもスペースが必要である。
- 【横 山】 スペースの問題は大きい。一般の人に利用してもらうためにも閲覧室がないと困る。行政文書の閲覧についてはどこで行っているのか。
- 【手 塚】 郷土資料館に移管されていないものは市総務課行政室が窓口となる。移管されたものは郷土資料館である。
- 【横 山】 現物を閲覧に供するのは現物か、それにかわるものか。
- 【手 塚】 昭和の戦時中、戦後直後のものは状態が悪い。事業の中では史料デジタル化の予算も若干計上している。市内の諸家文書などはマイクロ撮影したものがあがるが、歴史的市公文書はほとんどが現物であるため、利用頻度が高いと思われるものはデジタル化した上での閲覧も考えている。最終年度に現在市史編さん事業で利用している部屋の改修を予定している。
- 【下津谷】 現在のスペースを有効利用するほかない。もうひとつ、戦前の文書史料は紙が悪い。脱酸処理なども考えておかないといけない。
- 【立 野】 修補の専門家である横山先生のご指導を賜ればと思う。
- 【横 山】 科学的なことは扱ってはいないが、裏打ちすることで対処が可能なものもある。ご協力させていただきたい。
- 【下津谷】 入れ物はきちんと必要なんだ。ただ、防水改修をしたということだから、当分は今のままということなんだろう。
現在、資料館の燻蒸の状況はどうなってるのか。また、費用はどの程度か。ガスは何を使っているのか。
- 【手 塚】 歴史資料のある書庫、展示室の復元住居、小学校の余裕教室、プレハブ倉庫でそれぞれ行っており、隔年実施している。費用は手元に資料がないため正確には申し上げられないが、50万円を超える額であったかと記憶している（平成25年度は約55万円）。ガスはエキヒューム、ブンガノンを用いている。
- 【下津谷】 レプリカの制作なども考えられる。
- 【横 山】 市民に理解してもらうためにも、見やすい形で展示することも必要であろう。映像などの利用も考えられる。
- 【立 野】 そういった観点から模型等も要望しているところである。
- 【下津谷】 大いに要求してもらいたい。
- 【横 山】 要求しないと予算はつかない。いろんな形で取り上げてもらうためには、マスコミに企画展などを取り上げてもらう必要もあるだろう。
- 【立 野】 最近は地域版や地域紙、ケーブルテレビ等で取り上げられることが増えている。より認知度をあげる努力をしていきたい。
- 【下津谷】 計画ができるだけ実現できるようがんばってほしい。市史収集資料閲覧・公開環境整備事業でもかなり重要だ。包括的な、網羅的な事業である。

- 【立 野】 遺物の写真や、民俗や自然の写真も含めて行う予定である。
- 【下津谷】 話は別であるが、市史上巻改訂版の刊行のために各市町村などから写真を提供してもらった際に、お金を要求されたところというのはあるのか。
- 【手 塚】 東京国立博物館をはじめ大きなところや、新聞社などに対しては支払った。市町村に対して支払ったものはない。
- 【立 野】 考古の遺物写真について、プロのカメラマンが撮影したものは別途利用料がかかる場合があるが、今回は利用しなかった。
- 【手 塚】 また、公共館でも指定管理館などでは利用料がかかる場合がある。

→質疑の後、(3)は承認された。

6 その他(司会:立野郷土資料館長)

■ (1)平成 25 年度企画展・第 14 回ミニ展示について

手塚主事より資料5・6・7に基づき報告があった。

■ (2)平成 26 年度の郷土資料館の展示について

手塚主事より資料8に基づき報告があった。

質疑

- 【下津谷】 企画展を前期・後期にわけるといえるのは一つの案である。このほか、新規収蔵資料展示はどこで行うのか。
- 【立 野】 2階展示室を区切って行う予定である。
- 【小 出】 郷土資料館のスペースの問題というのが先ほどから話題になっているが、横や上に広げたりできないのであれば、体育館のあたりなどはよい敷地があるような気がする。野馬土手もあるし、あのあたりの敷地に立派なものを建てればいろんな問題も解決するし、市史編さん事業に関わった人々の情熱も使えるのではないか。誰がどういう風に動けば郷土資料館を作れるのか、いろんな考え方があっていいのではないか。
- 【横 山】 行政の方からいうよりもあちらこちらの市民の方から声が上がるとよい。
- 【立 野】 現在、課として要望している利用・展示・収蔵施設については今のところ場所は未定であるが、佐津間自治会館の渋谷総司資料室を含めると、中央地区にある郷土資料館は小さいが市全体としてレベルが高いものになっていくとも思える。
- 【横 山】 新しくできる公民館などの施設に、簡単に町の文化に接することのできる環境があるとよい。お年寄りには足がなくなると行きにくくなるが、図書館と同じで巡回して近くで見られるというのもいい考えだと思う。

- 【下津谷】 博物館で持っている資料を、地域の公共機関に貸し出して展示していくということも予算の中で考えてもらいたい。博物館の出張展示というのもやれないことはない。ただ、その場合はケースを作らなきゃいけないし、運搬できるケースでなければならないし、防犯も考える必要はある。
- 【横 山】 自分もそうだが、いきたいとこにいけないというのがだんだんと響いてくる。公民館は歩いていけるから、いい方法があるのではないか。
- 【立 野】 直接関わるわけではないが、手塚の昨年度担当した企画展の中で使用した北初富の自治会館の写真パネルについて、先方の自治会から貸し出しの依頼があったため現在貸し出しており、自治会館で展示中である。
また、地区の歴史と文化財展の写真パネルなどは公民館で展示してもらうことなども検討できるのではないかと思う。

7 閉会

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成 26 年 7 月 17 日

署名人 小出 達雄 ㊞